

No.	都道府県名	ふりがな 公民館名	公民館の概要
1	北海道	しむかつぶむらこうみんかん 占冠村公民館	恵まれた自然環境から育まれた農作物や林産資源をどう活かしていくかについて、地元産業への関心はあまりなく、教育現場においては、子どもは幼少期から限られた文化・スポーツしか経験できない中で生活しており、危惧する声もでている。 このような中、地域連携活性化事業などにより、大学や専門家の協力を得ながら、村や各団体と連携し、地域住民がこの村ならではの産業、教育、文化のあり方を考え、地域の特性を活かして元気のある村、子供が健やかに育つ村、次代へ引き継げる村作りを進めている。 各事業については、課題や指標を明確にし今後の事業展開に活かされている。 また、職員の研修については、道公民館大会をはじめ、他の研修などにも積極的に参加している。
2		とままえちようこうみんかん 苫前町公民館	町民が地元を誇りを持ち、健康で互いに助け合う明るいまちづくりを実現するため、地域の教育力の向上を目指し、社会教育事業や学校の授業を企画・実施する「苫前町学社融合事業」などの取組をすすめ、地域の「自然の活用」、「人材の活用」、「施設の活用」、「地域行事の活用」など地域に開かれた学校としての取組を推進している。 また、公益財団法人北海道生涯学習協会が行う道民カレッジ連携講座「ほっかいどう学」を遠隔通信により中継し、公民館講座として町内2カ所で開催している。 各事業については、内部評価や外部評価を実施し、議会に報告するとともに、地域住民への公表を行い、今後の事業展開等に活かしている。 職員研修については、道公民館大会に運営審議委員と例年参加するなど、他の研修についても積極的に参加している。
3		りしりちようこうりゅうそくしんしせつとんと 利尻町交流促進施設“とんと”	人口減少や少子高齢化の課題を克服し、活力ある地域社会の実現が求められる今、利尻町の次代を担う人材を育むために、一人一人が主役となる「自分づくり」、「まちづくり」に視点をあて、町民自らが生活課題や地域課題などの解決を目指す学習活動を展開している。当該施設は、町民の学習活動の拠点として、また、公民館と連携しながら、各種多様な学習機会の提供に取り組んでいる。 各事業については、社会教育委員の会議において事業内容の報告、調査、評価シートを基に内容、成果と課題、改善等について協議し、次年度の事業実施に活かしている。
4	青森県	むつしちゅうおうこうみんかん むつ市中央公民館	むつ市中央公民館は、受講生が講座の課題設定や講師の選定など自主的に行う市民参加型の「むつ市民大学」、専門的知識や技術の習得を図りながら指導者育成や自主学習グループ育成を目指す「ゼミナール」、女性の視点から地域の生活課題を考え、課題解決のために必要な知識・教養・技術の習得を目指す「婦人学級」等、「自ら学び、自ら運営する」を目標とした事業を継続して実施している。 また、平成26年度から、消防署と連携し、災害時の備えを目的に、避難場所での生活体験や防災について学ぶ「子ども防災キャンプ」を実施している。 以上のように、生涯学習の拠点として地域住民の学習活動に大きく貢献している。
5		あおもりしなみおかのざわこうみんかん 青森市浪岡野沢公民館	青森市浪岡野沢公民館は、旧浪岡町地区に6館ある公民館の一つで、公民館の対象人口が2,703人と、少子高齢化の影響を受けながらも、浪岡野沢小学校との共催事業等による地域活性化に取り組み、年間総来館者数は5,000人を超えている。 郷土芸能をはじめ、各種楽器演奏、一輪車、作品づくりなど、これらのサークル活動はどれも地域住民のニーズによるものであり、公民館職員と住民の協力体制によって支えられている。また、事業連携団体には、サークル以外に小学校、児童館、地元企業、障害者施設、大学等があり、公民館を中心とした社会教育活動及び地域活性化の推進力となっている。 以上のように、生涯学習の拠点として地域住民の学びに大きく貢献している。
6	岩手県	もりおかしみるまえちこうみんかん 盛岡市見前地区公民館	盛岡市見前地区公民館は、昭和30年に旧都南村の第一公民館として設置される。その後、平成4年に盛岡市と都南村が合併、盛岡市見前地区公民館と改称される。平成9年に盛岡市津志田に新築移転し、現在に至っている。旧都南村時代から地域との密着度が高く、地域に開かれた公民館として、地域住民のニーズや現代社会の課題に対応した事業を展開してきた。とりわけ、生涯学習関連施設、福祉関連施設、大学等の高等機関や地区内の小中学校及び地域内自治公民館など関係団体と連携した事業（「青少年健全育成シンポジウム」、「中学生地域活動ボランティア学習会」など）に積極的に取り組み、地域の教育力の向上と住みよい地域づくりの支援に努めている。
7		くじしりつやまねこうみんかん 久慈市立山根公民館	久慈市山根町は人口357人、世帯数175、平成25年度に山根小中学校が閉校となるなど高齢化と過疎が進んでいる小規模の地域であり、山根公民館は地域住民が集い、学び合うことができる唯一の場となっている。 公民館主催事業の他にも、地域団体と連携しての活動が多く、小規模地域の特性を生かした活動を展開している。中でも町民文化祭は、公民館講座の参加者や公民館と連携して活動している地域団体が一堂に会し発表する場であり、地域住民の半数以上が参加する地域最大のイベントとして定着している。同時に年1回の地域住民全体の交流の場にもなっている。 また、平成26年度に県北地区教育振興運動推進研修会、平成27年度に第62回岩手県公民館大会で活動実践を発表し、他市町村公民館の事業推進に寄与している。
8		きたかみししょうがいぐしゅうせんたー 北上市生涯学習センター	北上市生涯学習センターは市民の学習意欲に応え、多方面から支援している。 環境、国際、医療、経済などの現代的課題について、理解を深める機会として、市民で構成する運営委員会が企画段階から参画する北上市民大学を開講している。 経済や法律などの専門分野に係る、最新の研究成果に触れる場として、地元の大学教授を講師とした富士大学北上市民セミナーを開催している。 グループ、企業及び団体等の自主的な生涯学習を促進するため、出前講座を実施している。 広報やホームページなどを通じて市民を対象として生涯学習情報を提供している。 また、サークルや団体と連携し、生涯学習市民の集い「遊・YOU学園祭」を開催している。市民の学びの成果を発表するとともに、その輪を市全体に広げる活動を行っている。

No.	都道府県名	ふりがな 公 民 館 名	公民館の概要
9	秋田県	ゆりほんじょうしにしめこうみんかん 由利本荘市西目公民館	高齢者の単身世帯が増えてきた現状に対し、傾聴ボランティア養成講座を実施した。講座には地元高校生が世代の違う一般参加者と共に受講し、幅広い年代が「傾聴」というボランティア活動を通して、住民の交流機会の創出と地域人材の育成に取り組んでいる。 地域住民が利用しやすいように、他地区より開設時間を延長するなどの工夫もみられ、登録活動団体数や利用者数も多い。
10		みさとちようこうみんかん 美郷町公民館	ボランティアを派遣する住民活動センター「みさぼーと」と連携したり、子どもを対象とした体験活動を企画運営する地域人材「みさと世話好きマイスター」の活躍の場を設定したりして、地域ぐるみで子どもを育む体制づくりに努めている。 公民館の四つの学習講座の修了者のうち、三つの自主活動サークルができたように、グループ立ち上げや活動への支援も行われている。学びのきっかけづくりと成果の還元により、「知の循環型社会の構築」に取り組んでいる。
11	山形県	しょうないまち あまるめ だいに こうみんかん 庄内町余目第二公民館	庄内町余目第二公民館は、陶芸を中心とした創作活動や展示・発表のできる「創造の館」としての特色を持ち、平成6年に三地区の統合館として開館した。以来、陶芸作品を創るだけでなく互いの作品を鑑賞したり、家庭で使用して楽しむことも目的として多くのサークルにより主体的な創作活動が継続的に行われており、庄内町余目第二公民館は町の芸術・文化振興の役割を担うとともに、地域住民の学び・交流の場として親しまれ、広く活用されている。現在は、地域・学校・団体等からなる「第二学区地域づくり会議」が公民館事業の主体的運営の役割を担い、住民のニーズと主体性を生かした事業に取り組み、住民の生きがいづくりを視野に据えた生涯学習の推進と活力ある地域づくりを目指している。
12		むらやまし とざわちいき しみん せんたー 村山市戸沢地域市民センター	戸沢地域市民センター(旧戸沢地区公民館)は、平成15年に「戸沢まちづくり協議会」を組織し、生涯学習部会が中心となり、地域の将来像となる「地域計画」を策定した。また、地域単位としては極めて珍しい「生涯学習地域宣言」を行うなど、文化・スポーツ活動推進をはじめとした先駆的な公民館・生涯学習活動を数多く実践している。特に、「戸沢地域学講座」、「東北の戸沢めぐり」、「戸沢五輪(オリンピック)」、地域の食文化「ひっぱりうどん研究所」の設立などは独創的であり、さらに『戸沢の歴史人物伝』、『戸沢の石碑石仏』の編集発行、地元小学校と連携し作成した「未来に伝えたい方言番付70+α」、「地域の名所名品番付100選」等は、特筆すべき実績といえる。
13	福島県	しらかわしちゅうおうこうみんかん 白河市中心公民館	住民のニーズや時代のトレンドをいち早く察知し、市民が学びたいと思う旬な講座を取りそろえ、毎年多様な講座を開講し、住民の生涯学習の拠点となっている。 また、講座を修了した受講生たちが、その後自主的に活動し学びが継続するよう、「クラブ」の設立を積極的に支援してきた。 設立や運営を支援してきた各クラブの代表者による「クラブ会長会」が、会員相互の親睦を目的に始めた「公民館盆踊り大会」は、旧市内で途絶えていた盆踊り大会を復活させ、地域の伝統行事の保存継承、また、多世代の交流や中心市街地活性化という地域課題を解決する糸口にまでつながった点、他に類を見ない取組である。
14		すかがわしにしふくろうみんかん 須賀川市西袋公民館	学社連携の事業として、4つの事業を行い、小・中学校との連携を進め、伝統文化の継承や世代間交流を図り、地域の活性化に結びつけている。 特に、「ジュニアボランティア養成講座」は、中学校との連携を図りながら、公民館事業や市内で開催する事業に中学生がボランティアとして関わり、体験活動や地域の人との交流の中から、人間性・社会性を育成し、故郷を愛する思いや奉仕の心を培う場を提供している。 また、企業や他部局と連携しながら効果的に講座開設、運営をしている点や公民館報も毎月発行し、地域住民に情報の発信を行っている。
15		いなわしろまちたいけんこうりゅうかん(まなびいな) 猪苗代町体験交流館(学びいな)	幼児から高齢者までを対象とする各種講座は、町民のニーズ、地域課題等を的確に把握しながら町民に学ぶ楽しさ、生きる喜びを促し、大きな成果を収めている。 また、猪苗代町体験交流館の運営ビジョンと行動目標を明確に設定し、体験交流協会の意見を踏まえて、PDCAサイクルによる事業評価・事業改善を行いながら、各種講座・教室を計画、実行している。 特色ある事業である「学びいな夏・秋祭り」は、各学習者がその成果を発表する機会として位置づけるとともに町民全体が体験や鑑賞を通して生涯学習や文化に対する意識を高め、さらに学ぶという意欲の高揚に大きな成果をあげている。
16	茨城県	つくばふれあいプラザ つくば市ふれあいプラザ	つくば市ふれあいプラザは、平成17年の開館以来生涯にわたる学習活動を総合的に支援してきた。その中で、希薄化する世代間交流・地域コミュニティの活性化が地域的な課題となり、この課題解決のため、平成22年から子ども・親・祖父母といった三世代が参加し、地元の偉人である「間宮林蔵」を題材とする演劇を実施することにした。この事業は、専門家や地域の学習グループなどの参加を年々得て、好評を得ている。平成28年2月には、つくば市、つくばみらい市、茨城県県南生涯学習センターと連携し、2日間にわたり地域活性化フォーラムを実施した。 また、各種講座・事業等も受講者の意見を取り入れ、自己点検に努め、講座案内を工夫するなど意欲的な事業を展開している。

No.	都道府県名	ふりがな 公民館名	公民館の概要
17	栃木県	とちぎしにしかたこうみんかん 栃木市西方公民館	栃木市においては、学校・家庭・地域の連携協力を組織的に発展させ、より効果的に「学校支援」や「地域の絆づくり」を図る「とちぎ未来アシストネット」(以下「アシストネット」という。)を推進している。西方地域では、このアシストネットを推進するため、当公民館に西方地域本部(西方地域教育協議会)を置き、学校教育関係者と地域社会教育団体代表者が意見交換会や共同で研修会を開催したり広報活動を行っている。特に、地域からの学校支援ボランティア活動のみならず、中学生が地域内の小学校の運動会や地域行事である子ども夏まつりなどに積極的にボランティア活動に参加するなど、大人から子どもまで当公民館が拠点施設となり、地域コミュニティの絆を強くするため学校・家庭・地域・公民館が一体となったまちづくりを推進している。
18	群馬県	いたくらまちちゅうおうこうみんかん 板倉町中央公民館	板倉町中央公民館は、町の中心部に位置しており、図書館、ホール等の役割を兼ね備えた文化会館的な役割を担っている。 地域の方々や公民館利用者、学生などの協力により、子どもたちの学校外での居場所作りや体験活動及び自主的な学習の場として公民館を活用している。このことにより、郷土愛や次世代を担う子どもたちの「生きる力」を育成するとともに、地域住民の連帯感や安心安全なまちづくりに寄与している。 町の地域コミュニティの中心的存在として、子どもからお年寄りまでいきいきと集える憩いの場として、生涯学習の向上に大きく貢献している。
19		たかやまむらこうみんかん 高山村公民館	高山村公民館は、住民の生涯学習や交流活動の拠点として誰でも気軽に利用できる公民館運営とともに、青少年の健全育成を強く推進している。これまでも読書推進には力をそそぎ、図書相談員や読み聞かせボランティア等の活動により公民館図書室と小中学校図書室の密な連携による充実した活動が行われている。 さらには、小中学生の英語教育を支援するため公民館を会場に、小学生は土曜学習で、中学生は月曜放課後教室としてALTや地域の指導者の協力も得て英会話学習を行っている。 地域の実情や住民ニーズに即し、13ある地区公民館や関係機関と連携協力して魅力ある地域づくり・人づくりに大きく貢献している。
20	埼玉県	はんのうしかじひがしこうみんかん 飯能市加治東公民館	入間川を挟んで保育所から大学までが近接する文教地域であるとともに、近年開発が進み、新旧住民が混在する地域に立地している。コミュニティが希薄になりつつある地域の課題を解決するために、自然環境を生かしながら、関係団体との連携のもと特色ある事業を積極的に実施している。 地域に残る豊かな自然環境を題材とした小学生対象の「自然観察会」をもとに、中学生から高齢者までのボランティア等の地域人材の活用や関係団体との連携を行い、世代間交流を図りながら、地域コミュニティの発展を図っている。
21		ながとろまちちゅうおうこうみんかん 長瀬町中央公民館	住みよいまちづくり、生きがいづくり、生涯学習の拠点としての「公民館」、働く青少年の福祉増進と余暇活動の場としての「勤労青少年ホーム」、住民の憩いと交流の場としての「コミュニティセンター」の三つの機能を持つ複合施設として、特色ある事業を実施している。 全国平均を上回る地域の高齢化率に対応するため、高齢者を対象とした曲に合わせた体操や、指先を使った工作、「脳トレ」などの体・指・頭を使う三拍子揃った「健康体操教室」を継続的に実施することで、高齢者の健康づくり、介護予防事業に積極的に取り組んでいる。
22		わらびりつちゅうおうこうみんかん 蕨市立中央公民館	蕨市教育委員会が埼玉県で初めて開講した「日本語ボランティア養成講座」を、平成11年度からは中央公民館が中心となって継続的に実施している。 蕨市は在住外国人の割合が高く、日本語や日本文化を学びたいという需要も大きい。こうした需要に応えるために、中央公民館ではボランティアサークルと共催で日本語ボランティア養成講座を開催しており、この講座を修了したボランティアによる日本語教室が市内各公民館で開設されている。 なお、日本語教室は、在住外国人が日本語を学ぶ場としてだけではなく、子育て・医療等の生活関連情報の交換の場としても機能し、また地域住民との交流を通じた多文化共生のまちづくりに大きな役割を果たしている。
23	千葉県	さくらしりつちゅうおうこうみんかん 佐倉市立中央公民館	昭和22年に旧佐倉町が設置した佐倉町公民館を前身とし、市内6公民館の中心館として、佐倉市のまちづくり活動を担ってきた。現在、登録されているサークルは475団体、活動回数は4,080回、延べ参加者数は93,377人となっており、様々な活動を展開している。 平成4年に、「実践を通して生涯学習のできる場」となることを目的に、四年制高齢者大学の「佐倉市民カレッジ」が開設された。前半の2年間は、「であい課程」として、主に一般教養を学び、後半の2年間は、「専攻課程」として、講義と実践を通して卒業後も地域で活動することを目標にして学ぶ。市民カレッジからは、これまでに20期、約1,800人が卒業しており、多くの方が市民活動団体を組織し、福祉施設や学校及び公民館等で、様々なボランティア活動を実践している。
24		かしわしちゅうおうこうみんかん 柏市中央公民館	昭和56年に開館以来、地域住民が自ら考え行動できる地域社会の形成のために、人と人をつなぎ、学びや交流を通して市民の力を高め、豊かなまちづくり、人づくりに資する「まちづくりの拠点」を担っている。現在、幼児から高齢者まで、幅広い層の世代が参加できる、83講座を立案し、多様な学習環境を整備している。 平成14年に実施したITリーダー養成講座の受講者が、ボランティアとして企画・運営・講師までを行う「パソコン講座」は、「市民の学習成果の発表の場」や「市民の学習を支援する人材育成の場」になっている。中でも、まちづくりをテーマにした「企画講座」では、多くの団体が参加し、ITをツールとした「まちづくり活動」に資する魅力ある講座が展開された。また、公民館の現代課題講座として平成26年度に実施した「社会教育委員企画講座」は、社会教育委員にとっても、地域住民の学習ニーズ等について多角的な理解を深める機会となった。

No.	都道府県名	ふりがな 公 民 館 名	公民館の概要
25	千葉県	よこしばひかりまちちょうみんかいかん <b>横芝光町町民会館</b>	昭和59年に開館以来、地域課題の解決及び人づくり・まちづくり活動のために地域と共に歩み、幼児から高齢者を対象とした様々な魅力ある講座を実施し、現在、約2万5千人の市民を対象にして、多様な学習機会を提供している。 「親子講座」では、未就学児親子と一緒にダンスや調理体験等を行うことで、親子の絆を一層深めることや保護者同士が子育ての悩み等を共有する機会になっている。また、地元の農家や大学及び研究機関と連携を密にとりながら、果実の収穫等の農業体験やハロウィンパーティでの留学生との交流及びペットボトルロケット製作等の科学実験を行うことで、地産地消といった食育や国際理解教育、科学体験を行う貴重な機会にもなっている。
26	神奈川県	あつぎしりつむつあいきたこうみんかん <b>厚木市立睦台北公民館</b>	睦台北公民館は、地域住民の要望を的確に把握しながら、現代的な課題を踏まえた事業を展開している一方で、自然に恵まれた地域環境を活かした事業を行っている。 また、事業を展開するに当たっては、近隣の高等学校や小・中学校をはじめ、ジュニアリーダースクラブや地域の諸団体などと協働することによって、相互の絆をより強くすることに取り組み、地域の重要な交流拠点としての役割を果たしている。 特に、毎年3月に実施している青少年スポーツ教室では、学校教育と社会教育の連携を深めることで地域の教育力の向上を図り、地域の未来を担う青少年に豊かな体験活動の機会を提供し、人づくり、地域づくりに努めている。
27		さがみはらしりつせいしんこうみんかん <b>相模原市立清新公民館</b>	清新公民館は、昭和33年に清新小学校内に事務所を置いて発足。小学校教諭が公民館主事を兼任し、地域住民と一緒に活動し、事業を実施していたが、昭和57年に現公民館建物が完成し、専任の市職員を配置して活動を開始した。設立当初から、社会教育の場としてだけでなく、自治会や社会福祉協議会等の地域団体との連携による事業展開など、まちづくりの拠点としての活動も盛んに行っている。 当公民館では、地域住民で組織する専門部員を中心に事業評価を行い、常にリニューアルしながら事業を実施している。新規事業の「おとなの遊び場」は、公民館を取り巻く社会状況の変化や、地域住民のニーズの多様化に対応するため、孤立しがちな高齢者男性を呼び込む事業内容となっている。
28		よこすかししょうがいぐくしゅうせんたー <b>横須賀市生涯学習センター</b>	横須賀市の生涯学習推進拠点施設として、社会教育主事任用資格を有する職員を中心に事業の拡充に努め、学習の場の提供、市民大学講座をはじめとする多様な社会教育・生涯学習振興のための学習機会の提供、情報収集提供と学習相談の充実に取り組んでいる。さらに、まなび情報の登録講師の地域デビューと地域活動支援、地域活動サポーターの養成と自主活動への支援など、学習成果地域活用事業に取り組み、社会教育と学びによる人づくり、地域づくりを行っている。 また、行政、学校、各種団体、事業者等が構成する地域の中心機関である逸見地域運営協議会に参加し、地域の活性化を図る按針フェスタ等の事業に協賛し、協働で開催している。さらに利用者や地域団体とのまなびかんまつの協働開催など地域づくりに貢献している。
29	新潟県	むらかみしちゅうおうこうみんかん <b>村上市中央公民館</b>	村上市は、新潟県の最北端に位置し、平成20年4月1日に旧5市町村が合併し「村上市」となった。当該公民館は、生涯学習推進センター内に設置され、「ひとづくり・地域づくり・まちづくり」の拠点として、あらゆる世代の人に学習情報を提供し、自発的な生涯学習活動を促すことを目的として各事業に取り組んでいる。 「市民協働のまちづくり」を進める中で、市民の企画を取り入れた現代・地域課題について学習する機会を積極的に取り入れている。「むらかみ市民講座」を新設し、企画提案型事業としている。特に、近年の課題となっている「環境」と「防災」について、積極的に学習の機会を提供している。フィールドワークを取り入れ、講義での学びと実際の状況を比較し学びを深められるよう工夫している。
30		かりわむらこうみんかん <b>刈羽村公民館</b>	刈羽村は、人口約4,700人の農村地帯である。当該公民館は、生涯学習センター内に設置されている。農村地帯であるが、核家族化が進み、地域のつながりが希薄化してきているという現状を踏まえ、世代間交流や住民同士の交流による地域の活性化を図れるよう、事業に取り組んでいる。 地域の伝統文化の良さを体験・発見してもらえるよう「もちつき大会」、「昔遊び体験」、「かるた選手権(地域資源を題材としたかるたを使用)」の特色ある事業を実施している。また、地域への愛着を深めるために、地元のもち米を使用するなど工夫している。地元団体との連携も密である。当該公民館が、村民のニーズに対応した講座を提供し、広報活動を積極的に行っている成果として、公民館の年間利用者が多い。
31	富山県	ひみしくぼこうみんかん <b>氷見市窪公民館</b>	多年にわたり、公民館活動を積極的に展開し、地域活性化の中核施設として、学校・社会教育施設・地域住民と連携しながら、地域の紐帯の役割を担っている。 ここ近年は、ふるさとを学び知る事業として、歴史や文化の再発見に力を入れている。平成22年度から氷見市教育委員会と連携して3ヶ年継続して事業を実施したり、旧窪村のあゆみや校区の方言を調査した「窪校区の成り立ちと方言」を村内全戸に配布したりと意欲的に事業を実施した。平成25年度以降は、ふるさとを学び知る事業を発展させ、身近にある豊かな自然に視点を当て、ホテル観賞会や日の出ウォーキングなど数多くの事業を実施している。また、毎年恒例の大運動会や公民館祭りなどを継続実施するなど、地区住民にとってなくてはならない存在の公民館となっている。
32		たてやまちょうりつしんせとこうみんかん <b>立山町立新瀬戸公民館</b>	地域に継承されている伝統文化や伝統行事、そして豊かな自然を活かした様々な学習活動を、各種団体と連携しながらふるさと学習として推進しており、地域や家庭の教育力向上を図っている。 特に、県委託事業「公民館親子で高志の国探検事業」では、親子で体験する身近なふるさと学習や自然体験学習を積極的に推進している。 公民館親子で高志の国探検事業の3つの活動(①親子で自然とのふれあい体験、②池田浄瑠璃に挑戦、③紙芝居づくりに挑戦)に143名が参加し、地域に伝わる池田浄瑠璃の伝承活動や自然体験を通して、子供たちの豊かな心を育み、地域への愛着を深めるなど、子供たちと地域を結ぶ拠点として、大きな役割を果たしている。

No.	都道府県名	ふりがな 公民館名	公民館の概要
33	石川県	かがしりつかたやまづこうみんかん 加賀市立片山津公民館	地域の特性を生かした事業に積極的に取り組み、子どもと高齢者、住民同士が触れあえるように工夫している。制作した「片山津かるた」は、地域の歴史や特徴を捉えたかるたであり、小学校の授業で活用し、かるた大会を老人会、子ども会、女性協議会等で実施している。また、広報誌にもかるたの句を掲載しており、住民は楽しみながら地域の歴史を学び、郷土愛を育てている。 特に、環境問題については、地域全体で柴山湯の清掃活動に取り組み、小学生や幼稚園児が絶滅危惧種に指定されている水生植物を育成、植栽するなど、継続的に取り組んでいる。
34		ななおしたかしなこうみんかん 七尾市高階公民館	少子高齢化・過疎化が進行する中、地域の特性を生かして、子どもと住民同士の触れ合いを通して、地域コミュニティの絆を強めている。また、例年、ジャンボかぼちゃを栽培し、収穫体験や重量当てクイズを子どもから大人まで地域全体で行っている。 特に、「菜の花の里づくり事業」では、七尾市のシンボル花である菜の花を生かした事業を実施している。子どもたちが地域住民の支援を受け、菜の花栽培や菜の花を肥料とした稲作を行うほか、菜種油で調理実習等の体験活動を通して、子どもは地域との関わり合いや食育について学び、ふるさとへの愛着を深めている。
35	福井県	ふくいしあごこうみんかん 福井市安居公民館	安居公民館は、子どもから高齢者まで幅広い世代の地域住民と積極的に連携・協働して事業を運営している。特に、人と自然が織りなす地域づくりに向けて、子どもたちの学びを支え、自らも学習する成人対象の「安居の里を守る会」事業の実践においては、小学生対象の「AGOで遊ぼう!」の活動を指導・支援する事業、成人だけで実施する事業、また学校や団体・関係機関と連携した事業を実施している。いずれも末更毛川(みさらがわ)に生息するホタルを地域資源ととらえ、15年以上にわたって「企画シート」「ふりかえりシート」などを活用したPDCAサイクルによる改善を積み重ねてきたことで、着実な発展が認められる事業である。公民館主催事業から始まった環境講座が、市民団体(安居の里を守る会)活動へと発展し、指導助言に大学教授を迎えるなど、環境学習と郷土学習を融合した教育事業として展開している。
36		おおいちようりつなたしょうこうみんかん おおい町立名田庄公民館	名田庄公民館は、平成23年10月1日に設立した複合施設「おおい町里山文化交流センター」に事務所を移し、地域住民のニーズに合わせた多種多様な活動を展開している。公民館に生涯学習推進委員会を立上げ、委員による住民の立場での講座を提案・企画する生涯学習推進事業を開催している。「名田庄多聞の会」は、10年間で開催回数が30回を数えるなど地域において定着した事業となっている。時代に応じて常に新たな講座内容を企画したり、講師を発掘したりと、地域住民による豊かな発想や活動力を活かし、地域に根差した活動を継続して行っている。また、推進委員としての企画・運営の経験を活かして委員独自に事業を開催するという展開を見せている。平成23年12月の里山文化交流センター開館記念では、住民の自主事業として委員経験者が開催した「コンサート」では600名が来場した。
37		いけだちようのうがくのさとぶんかこうりゅうかいかん 池田町能楽の里文化交流会館	池田町は古くから受け継がれている国指定重要文化財「水海田楽能舞(みずうみでんがくのうまい)」をはじめ、町内各地に41面の古面が残されているなど能にかかわる文化が根付いている。能楽の里文化交流会館では平成9年度より「能楽の里 池田」から全国へ能を発信しようと、全国に先駆けて新作能面公募展を行っている。平成26年度まで延4,641名、6,437点の能狂言面が応募されている。平成26年度13回公募展においては208名、402点の応募があった。また、現在においても30名前後の新規出品者がみられる。規模において全国随一である。教育委員会、図書館、公民館の社会教育複合施設である会館大ホールは、特設能舞台を組むことが可能で、能面公募展、能公演を開催できる施設として事業を展開しており、全国に「能楽の里 池田」を発信するとともに、面を打つ方々の交流と研鑽の場となっている。
38	長野県	とうみしちゅうおうこうみんかん 東御市中央公民館	東御市は、長野県の東部に位置し、小県郡東部町と北佐久郡北御牧村の2町村が合併して、平成16年4月1日に誕生した。東御市中央公民館では、公民館講座を計画する上で、日ごろの利用者や各学級・講座の受講生・講師との会話から興味や内容への要望を知り、新しい内容の掘り起こしや内容の向上につながる配慮をしている。 「青少年を対象とした講座」は、子どもたちに学校以外の様々な人々との交流や社会活動、体験活動の機会を提供し、日常生活への充足感や自ら学び考える力を養うことを目的としている。学校との連携をとりつつ、地域に根ざした子どもたちの将来を見据えた企画・運営を行なっている。
39	岐阜県	ときしりつるさとうみんかん 土岐市立鶴里公民館	少子高齢化が進む人口1500人の鶴里町で、「多くの人が集うことのできる地域づくり・子どもたちがたくさん地域の人と触れ合いながら成長することのできる地域づくり・みんなで声を掛けあって日々を健康に過ごすことのできる地域づくり」の中核となっている。 特色ある事業として「自然と郷土を愛するまちづくり」を目標として、ホタルの里づくりの会を中心に住民が主体的にホタルの里づくりに取り組み、集大成として6月に「ホタルまつり」を開催している。学習活動の成果を協働による地域づくりの実践に発展させ、大人にとっても子どもにとっても地域に愛着と誇りの持てる事業となっている。 地域づくり、郷土を愛するまちづくりの一環として、講座に取り組み、地域の人々による行事にまで広めたことは大きな成果であり、年間のホタル育成計画が綿密で、地域の特色として自然環境保護活動を継続している。
40		ぐじょうしりつにしわらこうみんかん 郡上市立西和良公民館	対象人口が約600人であり、少子高齢化の地区であるが、保育園や中学校が開校となる中で唯一残っている小学校と強く連携し、郡上市を代表する伝統芸能である「郡上おどり」のおはやしジュニア学級や書初め会、地域全体で防災に取り組む「防災キャンプ」など公民館における小学校の活動を大切に行っている。また地域住民と小学校の交流事業や、小学校行事と公民館行事を合同で実施するなど、地域住民みんなで地域の子どもの育み、地域が一体となって公民館を核として強い絆を培っている。 地域社会に根差して公民館活動が行われ、多くの世代の方々が活動に参加し、絆を深め、地域の活性化を目指して計画的な実践がなされており、公民館と各種団体、各種団体と他の団体とのつながりを密にすることで各種地域行事の開催を公民館活動と一体化し推進している。



No.	都道府県名	ふりがな 公民館名	公民館の概要
41	静岡県	ふくろいしりつふくろいきたこうみんかん 袋井市立袋井北公民館	袋井北公民館区域は、市の中心部に位置し、近年宅地化が進み、地区外からの転入者を中心に住民数の増加が著しい地域となり、住民意識が多様化し、地域社会のつながりの希薄化も目立ちはじめている。 そこで、地区内関連団体と連携し、「明るい笑顔と楽しい会話がはずむ」を合い言葉に、地域住民が集うイベントとして「北ふれあいまつり」「ふれあい体育祭」「芸能発表会」「新春作品展」などを開催し、地域コミュニティ活動の中心として積極的に取り組んでいる。また、公民館を拠点とした「北公民館どろんこ教室」では、小学校児童を対象に野外活動や自然体験等の様々な活動を通じて、親子や地域の大人とのふれあいを深めるとともに、郷土の自然と文化に親しみ、生活や地域との関わりを見つめ直すことにより、豊かな感性を持った青少年の育成を地域ぐるみで目指し、実践している。
42	静岡県	しまだしかわねちくせんたー 島田市川根地区センター	川根地区センターは島田市家山地区にある施設で、隣接施設には島田市立川根小学校、島田市役所川根支所がある。川根地区の中心部といえる場所に位置し、子どもからお年寄りまで幅広い年齢層の方が集い、学び、交流する生涯学習の拠点施設となっている。 川根地区の豊富な自然を活かし、里山ウォーキングを実施している。月1回程度開催している事業で、登録者は80人を超える。地元の自然を実際に見て・触れることで、普段は意識することのない地域の資源や課題を発見でき、地元住民の意識向上へとつながっている。また、参加者には仕事を退職した年齢層も多く、他の講座では少ない男性の参加者もいる。ウォーキングを通して、心身ともにリフレッシュできる場、仲間づくりの場として受講生から大変需要の高い事業である。
43	静岡県	はままつしかみきようどうせんたー 浜松市可美協働センター	可美地区は、浜松市の南西部に位置し、自動車メーカーを中心に工業が発達した地域であり、多くの関連会社や各種の事業所が存在している。また比較的市の中心に近いことで、集合住宅も増え住宅地域として広がりをみせている地域である。 可美協働センターは、「地域に根ざした活動」「青少年健全育成事業の充実」「新たな利用者の拡大や同好会づくり」を運営の重点目標として、生涯学習の推進に取り組んでいる。 協働センターの特色として、子供たちの健全育成を目指し、地域で活動している団体との共催で様々な催しを行っている。回数を重ねることにより地域に密着し、共通の目的をもって活動することで地域のまとまりが強くなり、地域コミュニティの育成に貢献している。
44	愛知県	はんだしりつ すみよしこうみんかん 半田市立住吉公民館	住吉公民館は、地域のニーズを捉え活動に反映できるように地域から推薦された住民を市教育委員会が職員として委嘱し、館の管理運営を委任している地区公民館の一つである。14ある地区公民館のなかでも、住吉公民館は、市の中心部である商業地区として発展している地域を対象地区とし、地域の絆づくりと地域力の向上を目的に多世代の住民の交流を積極的に進めている。区域が広いこともあって、住民同士の連携が取りづらいという課題解決を図ろうと、ウォーキングを市外で開催するなど独自の企画運営に努めている。また、高齢者が家にこもらないよう声かけ運動を進め、女性一人でも気軽に参加できる学習講座を開催したり、受講後も学びを継続できるようサークルの発足をサポートしたりしている。
45	愛知県	とよかわし とよかわこうみんかん 豊川市豊川公民館	豊川公民館は、東部中学校区のコミュニティ拠点として置かれる社会教育施設であり、市民の学習と交流の場として開館し、今年で38年目を迎えた。市内に置かれる公民館の中で最も来館者数も多く、幼児から高齢まで幅広い年齢層に利用され親しまれている。地域住民が講師となる「放課後子ども教室」ならびに「地域生涯学習講座」を始めとした講座や、様々なサークル活動の場として、事業の見直しを行いながら、豊かな文化的教養を身につける機会を提供し続けている。また、地元を焦点を当てた歴史講座では、多くの住民の協力を得て、好評であったほか、公民館まつりでは毎年多くの来場者を迎えているなど、生涯学習活動の推進ばかりではなく、地域の活性化に大きな貢献・成果があった施設である。
46	滋賀県	ひこねしなちくこうみんかん 彦根市中地区公民館	中地区公民館は平成20年度から指定管理者制度を導入、地域の施設は地域で管理運営するという考えのもと、中地区公民館エリア内自治会、利用者、地域に関心のある方による「中地区交流の館運営協議会」を組織し、地域密着型の活動を展開している。地域住民が住んでよかったと実感できる活動、よりよい地域をつくる活動等を行っている。地域づくりの中核としての位置づけ、地域情報の発信センターとしての役割をもつ。特に青少年の健全育成と高齢者のくらしやすい環境づくりに役立つ活動に重点を置いている。子育て支援やまちづくりの講座・相談等の事業にも取り組んでおり、住民目線で、現場主義、地域に密着した運営管理を行うことで、より質の高いサービスを提供し、地域文化活動・社会活動の拠点、また、自治活動の補完施設として、その役割を十分発揮している。
47	京都府	みやづしよしづちくこうみんかん 宮津市吉津地区公民館	地域住民の生涯学習の拠点として、誰もが健康で楽しく豊かに生活できるよう積極的に学習機会、場の提供を進め活動している。「親子ドッジボール大会」「グラウンドゴルフ＆ウォーキング」など、2世代・3世代交流活動に力を入れ、子ども達の健全育成を目指した取組を実施している。 特に平成26年度は、地域の「吉津げんき会」と共催で、子ども達に地域（須津）の歴史・文化を見直し、郷土愛を育むため「須津の民話（全15話）」をまとめ、冊子にする取組を実施している。 また、地域住民の健康増進普及のため、「認知症予防トレーニング」、「座ってできる健康体操」などを開催する他、市で行っている健康広場事業とタイアップし、住民の健康寿命の延伸を目指して、毎月1回インターバル速歩を取り入れたサンデーウォーキングを開催し、活力ある地域づくりの推進に大きく貢献している。
48	京都府	やわたしりつしょうがいなくしゅうせんたー 八幡市立生涯学習センター	市民に対する学習情報の提供と相談機能を充実し、様々な分野にわたる学習活動の推進に努めている。また、市民の自発的な学習活動やボランティア活動の促進に努めるとともに、公民館等社会教育施設や大学等との連携を進め、現代的課題に関する学習活動の推進を図っている。 子どもから高齢者まで、すべての市民を対象として幅広く事業を実施している。また、親子や子どもを対象とした事業を数多く開催するなど、家庭教育支援や子どもの居場所づくりにつながる取組にも力を注いでいる。 多くの市民に学習の機会を提供できるよう、広報誌を年6回発行し全戸配布するなど、積極的に情報発信している。また、「生涯学習開講式」や「生涯学習フェスティバル」では、記念講演の講師の選定を工夫するなど、市民の学ぶ意欲を高めている。 市内にある公民館とコミュニティセンターの取組を総括し、相互連携・協調を図りながら、特色ある事業を行えるよう支援に努めている。

No.	都道府県名	ふりがな 公民館名	公民館の概要
49	京都府	まいづるしじょうなんかいかん 舞鶴市城南会館	開設される前年度から、公募市民と行政による「運営方法を考えるワークショップ」が開催され、住民主導の運営が行われるよう、運営委員会やボランティア会の設置などが提案された。開館後は、この提案に基づき、城南会館運営委員会（平成26年度より「運営会議」と名称変更）が設置され、地域や学校等と密着した事業が切れ目なく活発に実施されており、幅広い層に対する学習機会の充実、並びに様々な主体との連携を含む地域コミュニティの発展・充実に努めている。 また、「城南キャンプ」では、地域の人々や他地域・学校の仲間とも交流しながら、自然体験活動を通して共同作業、野外活動を経験する場を提供し、参加児童・生徒の自尊感情の向上に貢献している。 また、定期的に運営会議を持ち、地域からの意見や要望の把握に努めている他に、会館だよりを年4回発行し、広く市民に向けて広報している。
50	兵庫県	かさいしほくごうみんかん 加西市北部公民館	加西市北部公民館では、障害の種類や程度による参加制限を設けない「障がい者教室（みんなであそぼう）」や、在宅で介護をされている方の勉強会「楽・笑・介」を開催している。これらは地域住民からの要望を受けて開催した講座で、参加者やボランティア間に新たな交流が生まれるなど、地域の課題解決並びに福祉の向上に大きく寄与している。
51		ささやましこうみんかん 篠山市公民館	「中央図書館」や「子育てふれあいセンター」などと連携しながら、事業実施をするなど、横のつながりを意識した公民館運営がされている。講座生自らがサポーター役となり、「丹波ささやまおもしろゼミナール」の講師を担うなど、学んだ知識を地域のために広げたり、風呂用の「桶」を利用したニュースポーツ「桶ツト（おけつと）卓球」を考案し、地域の温泉施設とともに特色を活かした活動を行うなど、市民に多様な学びや活動の機会を提供している。
52	奈良県	ならしりつつきがせこうみんかん 奈良市立月ヶ瀬公民館	当該公民館は、公益財団法人奈良市生涯学習財団が指定管理者として管理・運営を行っている施設である。同財団は、職員の持つ社会教育・生涯学習に関する専門的な知識・経験を活かし、市内の生涯学習センターと23公民館の指定管理者として多彩な事業を実施している。 月ヶ瀬地域は、若者が地域を出るなど毎年少しずつ人口が減少し、また少子高齢化が進み人口の約40%が高齢者となっている他、独り暮らしの家や空き家が増えている。一方で名勝月ヶ瀬梅林があり、観光産業にも力を入れており、梅林の歴史と共に梅加工の歴史も古く、豊富な種類の梅製品を生産していることに加え、農作物を作る技術も優れている。発展性のある豊かな土壌をもっているが、こうした現状において、公民館では、地域資源を活用し住民の力で地域を活性化していくことが喫緊の課題であり、そのためには住人が元気で生きがいを持って生活することが大切であると考え、地域を巻き込んで「プチ田舎暮らし・月ヶ瀬」に取り組んだ。この事業を通して、講師を務めた地域住民と講座の参加者に交流が生まれて、月ヶ瀬の魅力の発信や月ヶ瀬を訪れる人も増加し、地域の活性化につながっている。
53	和歌山県	はしもとしこうやぐちくこうみんかん 橋本市高野口地区公民館	橋本市の教育方針の中に「持続可能な社会の担い手を育む教育（ESD）の推進」「人が育ち合う、共育のまちづくりプラン」というものがあり、高野口地区公民館においても、「ESDの視点に立った公民館活動」を実施している。例えば、ゴミ問題や老人福祉問題など、地域課題の解決策をみんなで話し合う「高野口を語ろう！」という生涯学習シンポジウムや、外国人居住者や海外での生活体験のある日本人から現代外国事情を聞き、世帯を超えた取組となっている。「多文化共生」をめざす「高野口インターナショナルフェスタ」などを開催し、公民館を拠点として住民自らが積極的に「住みよいまちづくり」に参画している。
54	鳥取県	とっとりしりつとうごうちくこうみんかん 鳥取市立東郷地区公民館	小学校や保育所への支援活動をしたり、地域住民をも巻き込んだ交流活動を演出したりする公民館活動は、学校と地域の連携を強くする取組となっている。 地域の特徴・課題を十分に把握し、小地域ならではの取り組みを各種民間団体等とうまく連携し、参加住民が楽しめる仕掛け作りをして地域全体が盛り上がるように心がけている。活発に活動する保護者等を地域の各種組織・団体が支えており、世代を超えた取組となっている。人口が少くないことを逆手に取り、地域の将来を見据えた、自然・防災・つながりをキーワードにした事業を実施している。 地区住民、特に若い保護者層を中心に縦横のネットワークをつくり、ふるさとの誇りづくりに貢献している。さらに関係性が深まり、継続的な取組となるよう努めている。
55		くらよしさいごうこうみんかん 倉吉市西郷公民館	「アイラブ西郷」を合言葉に、住民の学習要求や社会の変化に応じた生涯学習の充実をめざし、連帯意識のある明るく住みよい地域づくりに取り組んでいる。地域課題解決に3年計画で取り組む倉吉市研究指定事業を活用し、「防災」をテーマに高い専門性と計画性のある研修事業を推進している。 様々な研修、マップ作りを通して地区住民への防災意識を高め、各自治公民館のリーダーを育成するとともに様々な団体、組織と連携して地域の課題を共有し、支えあう人づくりに取り組んでいる。 地域住民にとって必要な防災対策のソフト面でのアプローチであり、有意義な取組であるとともに、防災マップを作成したり、防災訓練をするなど具体的な活動につながっている。
56	島根県	まつえしたまゆこうみんかん 松江市玉湯公民館	地域代表者29名による公民館運営協議会を設置し、公民館活動を企画・運営する6の部門が設けられている。事業実施後のアンケートや住民による公民館評価を分析し、活動に活かしている。 地域の行事に若者の姿がほとんど見られなかった玉湯地区で、平成18年の文化祭に中学3年生が参加したことをきっかけに、中・高校生グループ「たまゆメンバーズくらぶ（通称：たまめん）」が結成され、以後9年間継続し、会員数も136名と大きな広がりを見せている。親子を対象にした「星空観察会」や小学生を対象にした「夏休み勉強会」などの事業を主催したり、公民館や子ども会の活動を積極的に支援したりしている。 「公民館便り」や「たまめんNEWS」による活動周知、青少年育成協議会・子ども会連合会が中心の「たまめんサポーターズ」の結成、「たまめん合宿」開催によるメンバー同士のつながり強化の場の設定など、公民館を中心とする後方支援が「たまめん」の継続や広がりにつながる大きな効果を発揮している。

No.	都道府県名	ふりがな 公民館名	公民館の概要
57	岡山県	つやまじょうさいこうみんかん 津山市城西公民館	城西公民館は、公民館を核としたまちづくり、子育て支援、高齢者支援等の様々な事業を進めており、人々が集い、学び、仲間とつながる地域の拠点施設となっている。また、まちづくり協議会等の各種団体の事務局として様々な情報の集積と発信を行っており、地域課題の解決やまちづくりを進めるコーディネーターの役割を果たしている。 特色あるすぐれた取組として、誇りをもてるまちづくり、地域住民同士のつながりづくりのために「城西まるごと博物館フェア」を城西公民館が中心となって開催している。また、高齢者が歩いて買い物に行ける店が近くに無くなり、高齢者が自分で手押し車を押して買い物に行ける場所を提供したいという地域住民の要望を受け、まちづくり協議会に所属するNPO法人と協力して、毎月1回「野菜と魚の市」を開催している。
58	岡山県	びぜんしりつりこうみんかん 備前市立伊里公民館	伊里公民館は、少子高齢化に伴う地域の活力低下という地域課題の解決のため、種々の活動に取り組んでいる。地域の人々をつなぐ活動としては、地域の各主体に働きかけ、様々な事業を共催し、地域の人々の交流だけでなく、高齢者や子どもを活動に取り込むことで、多様な世代の活躍の場を提供している。その一例として、公民館が事務局である地区体育振興会が開催する地区マラソン大会や駅伝競走大会では、公民館が中学校に働きかけ、大会を学校行事に位置付けてもらい、生徒全員が選手やボランティアとして参加するといった仕掛けを行っている。また、過去に地域で子どもの荒れが顕著であったことを端緒に始まった、20年近く取り組むJR駅でのあいさつ運動や登下校で児童、生徒を見守る「青少年健全パトロール」事業等、子どもたちの健全育成活動にも積極的に取り組んでいる。このように地域の人々を有機的に結び付ける、地域の「ハブ」として機能している伊里公民館は、他の公民館の範となっている。
59		はつかいちしはらしみんせんたー 廿日市市原市民センター	昭和60年に開館(平成27年「原公民館」から名称等変更。)した地域における生涯学習とまちづくりの拠点施設である。少子高齢化が進むなかで、「原を想う」「原に住みたい」と思い、将来のまちづくりの担い手となる子供を地域全体で育てることが地域の喫緊の課題であると捉え、豊かな地域資源(自然や人)を活用し、地域ぐるみで、乳幼児期から学齢期までの子供の健全な育みを応援する環境をつくり、まちづくりや地域・家庭の教育力向上の取組を推進している。 親子サポート事業「はらさくっ&ママカレッジ」では、幼児を対象とした自然体験学習等を通じ、未就園児の学習と親同士の関係を広げる場をつくり、子育てを応援する取組を行っている。住民から活動場所である田や畑を借りたり、活動のサポートをもらったりするなど、地域人材を積極的に活用し、地域との連携による地域の魅力を発信する事業づくりを進めている。
60	広島県	じんせきこうげんちようじんせきこうみんかん 神石高原町神石公民館	本公民館は、神石高原町の北西部の高齢化率50%を超える地区に位置し、地域と密着した地道な公民館活動を行っている。地区の自治振興会や各種団体、学校等と連携を図り、通学路の防犯パトロール、あいさつ運動、放課後子供教室の実施等、地域ぐるみで子供を育む取組を行うほか、地域の宝を探す「じんせき高原学びネットふれあいJ-OX」講座、食育や食文化に関する教室等、多数の事業を開催し、地域の文化や歴史を次世代に伝える取組を推進している。 いきいきふれあい教室では、若者の都市部への流出や少子高齢化が進み、伝統的な生活様式の継承が困難になる中、最も身近で大切な「食文化」に着目し、郷土食や伝統食の掘り起こしとそのレシピ化等、食の伝統・文化を伝承する事業を実施。活動の成果は、「神石高原町残しておきたい おふくろの味」として発刊され、学校給食メニューへの導入や地産地消活動等、幅広く活用されている。この事業を通じ、参加者や地域住民の意識が変わり、地域の生きがいづくりやまちづくりへとつながった。現在は、後継者の育成や次の冊子発刊を目指し、新たな取組を進めている。
61	広島県	くれしみやはらまちづくりせんたー 呉市宮原まちづくりセンター	昭和43年に「宮原公民館」として開館し、平成26年に「同まちづくりセンター」へ移行した、市民協働のまちづくりと生涯学習を推進する地域の拠点施設である。まちづくり推進委員会を中心に、「宮原ホテルの里」の整備や「宮原ホテル祭り」に取り組むほか、地域住民の交流の場であるお茶の間サロン「きらく亭」の開設等の高齢者への支援や、若年層の利用促進を目指した子供や若者対象の事業に力を入れるなど、世代間の交流等を通して地域課題解決の取組を推進している。 地区内の学校と緊密に連携し、市教育委員会のキャリア教育事業(中学生の職場体験)を活用して、地域の小学生を対象とした講座(夏休み宿題ラストサポート教室)を中学生自身が企画・運営・指導する事業に結び付けて、「夏休み宿題ラストサポート教室」「科学研究やとりげ講座」等を行い、次世代の地域リーダー育成の取組を進めている。
62		しゅうなんしながおこうみんかん 周南市長穂公民館	人口減少や高齢化による地域課題に向けて、「共助」による地域の維持・活性化を図る取組を支援し、安心して暮らせる地域づくりを進めている。 具体的には、「住みよい長穂をつくる協議会」の活動を中山間地域振興担当課と連携しながら支援し、長穂地区独自の地域活性化計画である「長穂地区夢プラン」の実現に向けて事業を推進している。主な事業としては、「地域内外との交流促進」や、「名物野菜や料理の開発」「広報活動の推進」などの取組が挙げられる。 また、公民館主催の「真夏の学校」と地域主催の「星空観察会」を合同開催することで、世代間の交流の機会を創出し、地区の子ども達と大人の交流を深めている。
63	山口県	ほうふしまつざきこうみんかん 防府市松崎公民館	地区の生涯学習推進協議会の活動に合わせ、「挨拶標語コンクール」を実施し、親子がともに標語作成に関わり、学校と地域が一体となった活動を行うことで、気運の醸成を図った。入選作品は公民館報への掲載や、地区のふれあい祭りでの表彰、幟旗でのPRを行い、地域の「明るいまちづくり」に貢献している。 また、毎月、女性学級や家庭教育学級、高齢者教室を開催し、受講者にアンケートを実施し、住民の多様なニーズに対応できるような内容で実施した。 運営審議会等で、次年度へ向けた改善計画を作成するなど、PDCAサイクルによる事業の見直しを行い、小中学生と講座生・サークル生との交流の場を設けることや、高齢者を狙った詐欺など喫緊の事案への対応を図ることなどが計画され、実施されている。



No.	都道府県名	ふりがな 公民館名	公民館の概要
64	山口県	すおうおおしまちょうとうわそうごうせんたー 周防大島町東和総合センター	<p>少子高齢化などにより、周防大島町の基幹産業である農業従事者が減り、子どもたちの農業体験も減っている。そこで、豊かな自然を生かし、地域住民や文化施設の協力を得て、放課後子ども教室に農業体験を取り入れ、力を入れて活動した。地域住民を講師として招いたり、一緒に農作業を行ったり、ものづくりを体験したりすることで、世代間交流を図るだけでなく、周防大島の魅力の再発見につなげている。また、子どもたちだけでなく、高齢者にとっても、ボランティア等で活躍することで、地域の絆づくりや健康増進に役立っている。また、活動後にはアンケート実施し活動を見直すとともに、活動報告書や通信を作成し、広く広報活動も行っている。</p> <p>また、かがやき塾を実施し、高齢者を中心に受講生が集まり、地域の絆づくりに効果を上げている。</p>
65	徳島県	あなんしりつおおのこうみんかん 阿南市立大野公民館	<p>阿南市立大野公民館は、地域における社会教育の拠点として、住民、各種団体や幼稚園、小学校と協力しながら、伝統行事や世代間交流を行い、地域の活性化に取り組んでいる。</p> <p>地域活性化の取組として、各事業への参加者、各種団体、小学校、地域住民からの意見・要望を取りまとめ、参加者数、経費等を基に評価を行うと共に、他公民館や他市町村で起こっている事業内容も参考に、住民のニーズに応じた事業実施に努めている。</p> <p>特に、「阿南西部公園七夕まつり」は、大野地域の恒例行事として、地元ボランティア会、幼稚園、小学校、特別支援学校、PTA、セニヤクラブ、民生児童委員会、婦人会、消防団等、世代を超えた、大野町民全体での交流事業となっており、地域のつながり、地域力の向上に大きな成果を挙げている。</p>
66	愛媛県	やわたはましりつせんじょうちくこうみんかん 八幡浜市立千丈地区公民館	<p>千丈地区公民館では、地域住民が「自分たちの地域は自分たちでつくる」という意識で、地域活動、ボランティア活動等を運営・展開している。特に地域が一体となって実施する、公民館まつり、球技大会、地域文化祭、敬老会等は参加者が多く、心豊かなふるさとづくりに成果をあげている。</p> <p>また、青少年の健全育成を目指し、学校との連携を深めて、地域全体で「地域の子どもは地域で守る」体制づくりに取り組んでおり、登校時のあいさつ運動、下校の見守り、3世代交流事業等を熱心に行っており、地域の大人が地域の子どもを守り育てるという意識が地域に根付いている。</p> <p>毎年恒例行事として実施している「七草粥会」は、「伝統の新春行事を子どもたちに受け継いでもらいたい」という強い思いから始まり、長年続いている。保育園児から高齢者まで集まる地域交流事業であり、地域活性化を図る取組の一つである。</p>
67	佐賀県	たけおしたちばなこうみんかん 武雄市橋公民館	<p>橋町は、少子高齢化・人口減少が進んでおり、地域コミュニティの衰退が大きな課題である。地域が常襲水害地であることから、東日本大震災以降、自助、共助の取組みの必要性や地域防災を目指すうえで地域コミュニティの重要性を認識してきた。</p> <p>たちばな防災講座では、「防災」という地域課題をテーマに、県立生涯学習センター、市、市教育委員会、国土交通省武雄河川事務所を巻き込んで、防災について住民が学ぶ講座を開催した。その成果を受けて、本年度から、市、市教育委員会、河川事務所と連携した、有効に機能する自主防災組織づくりのための講座を継続して展開している。</p>
68		さがしりつこせこうみんかん 佐賀市立巨勢公民館	<p>巨勢校区は、道路拡張、商業施設の設立、宅地造成などここ10数年で大きく変化したため地域関係の希薄さが目に付くようになった。そこで子どもを中心に据えたまちづくりを地域に呼びかけ、地域ボランティアの育成や各種団体の連携強化をはかることに力を入れている。</p> <p>巨勢っ子を育む豊かな地域づくり事業では、巨勢っ子のためにと各種団体と協力しながら活動（ラジオ体操会、ハイキング・工場見学、子どもの現状啓発活動、子どもワークショップなど）をしていることで、公民館と各種団体、又団体間の連携が密になり、地域講師の充実や地域から子ども講座へのアイディアが出るなど支援が充実している。</p>
69	長崎県	させほしはいきちくこうみんかん 佐世保市早岐地区公民館	<p>早岐地区公民館が対象とする地域は佐世保市の東部に位置し、区域の面積は8km<sup>2</sup>。人口は約22,000人9,500世帯で、東部地区の中心的役割を担っており、早岐の町を中心に団地が周辺部に広がっている。</p> <p>早岐地区公民館は26年度、98団体が定期的に利用し、年間110,000人、1日当たり300人が利用した。主催講座についても6つの講座を計57回実施し、総数1,656人が参加した。</p> <p>若いお母さん方が参加できるようよう託児を行い、作品作りや、料理を通して世代間交流をはかっている。</p> <p>25年度からの「夏休み体験教室」は、日ごろ公民館で活動している生花、絵画教室、ダンスなどのサークルに地域の小学生が参加し、サークルと小学生の交流、礼儀やマナーなどを学ぶ体験講座を開催している。</p>
70		まつうらしりついまふくこうみんかん 松浦市立今福公民館	<p>人口減少と高齢化が進む中、今福公民館では商工青年部、婦人会、老人会、社会福祉協議会など地域の各種団体と協力しながら地域の活性化に取り組んでいる。</p> <p>特に地区社会福祉協議会と連携した今福町民文化祭の開催、老人会などと連携した世代間交流事業の実施、学校・保育園と連携した英語教室の開催など、地域における社会教育の拠点として住民が楽しく参加し、学び、交流を深める事業の展開に努めている。</p>
71	熊本県	ひとよししなかはらこうみんかん 人吉市中原公民館	<p>中原公民館は、非常勤職員2人の小さな公民館であるが、高齢化社会の対応を模索しながら、たくさんの方が参加できるような独自の講座を開講している。特に、多様なジャンルを網羅した「雑学笑科（見とこ 聞いとこ 知とこ）」は、募集人員を超える希望があるなど人気である。</p> <p>また、高齢化が進む中、地域住民が生き生きと健康に暮らしていける地域づくりに取り組み、地域課題の解決に積極的に貢献している。中でも男女共同参画の観点から、男性の料理教室への参加が増えるよう、薫製教室を開講している。ここでは、金づくりから取り組み、美味しい薫製ができるようにすべての工程を参加者が体験できるよう工夫している。</p> <p>この他にも、蒟蒻作りや玉葱植え、いんげん収穫等の食に関する講座や3B体操や社交ダンス、大人のラジオ体操等のスポーツに関する講座、子どもダンスや子ども折り紙等の子ども向け講座等も実施している。</p>

No.	都道府県名	ふりがな 公民館名	公民館の概要
72	大分県	なかつしいまづこみゆにゆーていーせんたー 中津市今津コミュニティセンター	<p>今津コミュニティセンターは、市の公民館条例に位置づけられた社会教育施設である。センターには、住民自主組織の運営委員会があり、「わが町の公民館」として日常の学習活動や環境整備など自治的な管理運営がされている。</p> <p>特色のある事業として、「今津校区ふれあいわいわい祭り」は、それぞれ別々に実施していた祭りを公民館が主導して学校、老人会、公民館の祭りが統合され、現在は校区の一大イベントとなっており、毎年約800人が参加し、校区の地区間、三世代間の交流の場となっている。</p> <p>さらに、地域づくりにおいては、住民主導型の「いきいき今津まちづくり協議会」が平成26年7月に設立され、6つの部会を組織して地域課題の解決にあたっている。センターはこの事務局として、協議会活動の広報、部会員の募集等により、協議会を支えている。</p>
73	宮崎県	ひゅうがしほそしまこうみんかん 日向市細島公民館	<p>市内の公立公民館(7館)の一つとして、市民を対象に各種主催講座を実施している。講座の実施に当たっては、幅広い年代に対し学習の機会を提供できるよう配慮しており、また、子ども達と高齢者の交流を図るなど、世代間交流の促進も図っている。</p> <p>また、管轄する細島地区のまちづくり活動を支援するため、地域で組織する「HOSOSHIMAまちづくり協議会」に事務局として参加し直接的、間接的に支援している。協議会が実施する地域おこしのための様々な行事に公民館職員が参加し、地域に密着した活動を実施しており、細島公民館が細島地区にとって、なくてはならない中核となる施設となっている。</p>
74	鹿児島県	かごしましたけ・たがみこうみんかん 鹿児島市武・田上公民館	<p>昭和55年5月に開館以来、武・田上地域の生涯学習拠点施設として地域住民を中心に多くの市民に愛されており、「笑顔とあいさつ 共に輝く 出合いの館 武・田上」をキャッチフレーズに、市民が利用しやすい館の運営に努めている。</p> <p>特色ある公民館経営として、武・田上地域の自然や文化等を生かしたり、社会教育施設や学校、関係機関等との連携を図ったりした少年講座や親子講座を実施している。また、地域総合文化祭においては、地域の小中学生(6小、4中)が実行委員となり、企画・運営するユースドリームフェスティバルを開催する等、青少年の健全育成及び家庭教育の充実に貢献している。</p>
75		いぶすきしりつうおみこうこうみんかん 指宿市立魚見校区公民館	<p>地域に密着した条例公民館として、「魚見はつらつカラオケ講座」等の校区民のニーズにあった公民館講座を実施し、生涯学習の場として多くの住民に活用されている。</p> <p>特に、地域の自治公民館や学校、校区内各種団体等と濃密な連携をとり、「魚見わくわく学習塾」や「あいさつ・声かけ運動街頭指導」など、青少年の健全育成を目的とした活動も幅広く展開しており、放課後や土曜日などに、子どもたちが遊び場所として立ち寄るなど大変親しまれている公民館である。また、市の公共図書館の配本を活用し、子どもの読書活動推進にも力を入れており、子どもたちの図書室利用も多い。</p>
76		ひおきしみやまちこうみんかん 日置市美山地区公民館	<p>美山地区公民館では、異世代間の交流事業を通して、高齢者の社会参加や地域福祉等の推進に取り組んでおり、地域住民による寿学級(高齢者学級)、成人学級、女性学級等の自主的・自発的な活動を展開している。</p> <p>公民館が地域住民の学習と交流の場として、地域の保育園、小学校、児童養護施設、その他の関係団体との連携を図り、地域社会の連帯感を培う役割を担うなど、地域住民参画による地域課題の解決に向けた取組を推進し、明るい地域づくりに貢献している。また、最近では、竹の垣根づくりや空家の改修によるコミュニティサロンの開設にも着手している。</p>
77	沖縄県	やえせちようちゅうおうこうみんかん 八重瀬町中央公民館	<p>八重瀬町中央公民館には、平成26年度は35のサークルが登録し、八重瀬町公民館利用団体連絡協議会が中心となり活動しており、各サークルのみならず自治公民館との連携・交流が図れるようにしている。中央公民館と自治公民館との連携に、中央公民館サークル所属者が中心となって自治公民館で活動したり、年に1回開催される「公民館まつり」では、サークル会員だけでなく、各自治公民館館長や地域で活動する老人クラブ会員で構成される愛好会の参加もあり、地域との連携がとれるようにしている。また、中央公民館の子ども向け講座を自治公民館で実施し、地域の子ども達が参加しやすくなっている。サークル活動を通じた地域との連携が図られており、生涯学習の振興に寄与しているといえる。以上、学習環境の整備に積極的に取り組み、地域住民の学習活動の支援や地域の課題解決に資する活動を継続的に行っている。</p>